

事 項	だいこんの根こぶ病のフルスルファミド粉剤（ネビジン粉剤）による防除法		
ね ら い	本県では、数年前からだいこんの高冷地栽培主産地において、品種「貴宮」などで根こぶ病が多発し、薬剤による防除法の確立が求められていた。そこで、本病に対するフルスルファミド粉剤（ネビジン粉剤）の防除効果を検討した結果、効果が認められ、本病を対象に初めて農薬登録されたので参考に供する。		
指 導 参 考 内 容	<p>1 フルスルファミド粉剤の使用方法 (1) は種前に、10 a 当たり30kgを全面土壌混和する。</p> <p>2 フルスルファミド粉剤の農薬登録内容 (1) 薬剤名等 ア 一般名：フルスルファミド粉剤 イ 商品名：ネビジン粉剤 ウ 有効成分：フルスルファミド 0.3% エ 人畜毒性：普通物 オ 魚毒性：C類</p> <p>(2) 使用基準 ア 登録年月：平成17年6月 イ 適用病害：根こぶ病 ウ 使用量：30kg/10 a エ 使用方法：全面土壌混和 オ 使用時期：は種前 カ 使用回数：1回 キ 総使用回数：フルスルファミドを含む農薬 1回</p>		
期待される効果	だいこんの根こぶ病の被害が軽減され、安定生産に寄与する。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成18年3月1日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録情報（http://www.maff.go.jp/nouyaku/）を確認する。</p> <p>3 使用上の留意事項を遵守する。</p> <p>4 魚毒性が強いので使用にあたっては十分注意する。</p> <p>5 本剤を処理した後のだいこんは、間引き菜、つまみ菜に使用しない。</p> <p>6 だいこんでは、多くの品種が根こぶ病に罹りにくいですが、品種によっては被害がみられる。</p>		
担 当	青森県農林総合研究センター 病虫害防除室	対象地域	県下全域
発表文献等	平成16年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 ダイコン根こぶ病に対するネビジン粉剤の防除効果 (平成16年 青森農林総研)

供試薬剤名	処理方法 ・処理量	8月10日調査			薬害	
		発病株率(%)	発病度	防除価	葉	根部
ネビジン粉剤	全面土壌混和 30kg/10a	29.3	25.8	66.1	なし	なし
無処理	—	86.3	76.1			

(注) 試験場所：青森農林総研中部ほ場 処理時期：平成16年6月8日 (は種直前)
品種：貴宮 は種日：6月8日 発生状況：甚発生

表2 ダイコン根こぶ病に対するネビジン粉剤の防除効果 (平成16年 新潟農総研園研)

供試薬剤名	処理方法 ・処理量	11月5日調査			薬害	
		発病株率(%)	発病度	防除価	葉	根部
ネビジン粉剤	全面土壌混和 30kg/10a	23.3	8.7	57.2	なし	なし
無処理	—	50.1	20.2			

(注) 試験場所：新潟農総研園研ほ場 処理時期：平成16年8月11日 (は種2日前)
品種：貴宮 は種日：8月13日 発生状況：中発生



写真1



写真2



写真3

写真1～3 ダイコン根こぶ病の被害症状 (平成16年 青森農林総研)

- (注) 1 側根の一部に生じた小さなこぶ
2 肥大根の一部に生じた大きなこぶと亀裂 (亀裂部表面はこぶ化)
3 肥大根に生じた亀裂 (亀裂部表面はこぶ化とともに一部黒変) と先端部の変形

(参考価格) ネビジン粉剤 1,380円前後/3kg、約13,800円/30kg/10a